

# 議事録

## 平成19年度 第62回 教育研究審議会議事要録

日 時 平成19年11月28日(水) 13:30～15:30

場 所 北方キャンパス本館E701会議室

出席者 <委員> 矢田学長、国武副学長、晴山副学長、近藤副学長、羽田野事務局長、板谷外国語学部長、迎経済学部長、赤塚文学部長、三宅法学部長、松藤国際環境工学部長、谷村社会システム研究科長、柳井学生部長、中野教務部長、棚次学術情報総合センター長、伊藤国際教育交流センター長、伊野入試センター長、漆原基盤教育センター副センター長、吉塚地域貢献室副室長、前田評価室副室長

### 配付資料

- 1-1 中期計画 主要施策の今後の取組みについて
- 1-2 中期計画 当面の対応
- 1-3 北九州市立大学 北の翼(中期計画 主要施策の今後の取組み)
- 1-4 中期計画 進捗総括表
- 2-1 北九州市立大学学則 改正概要
- 2-2 北九州市立大学学則 新旧対照表(案)
- 3 2008年度 学年暦(案)
- 4 地域創生学群の各入試選抜方式について(予定)
- 5 教員採用申請書(地域創生学群設置準備委員会)
- 6 平成20年度北九州市立大学 推薦・社会人入試結果
- 7 科研費補助金応募状況
- 8 教員海外出張・研修報告書

(冒頭、第61回教育研究審議会議事録(案)について確認)

### 第1号 中期計画総括中間報告について

\* 中期計画中間総括の中間報告について、資料1-1～資料1-4のとおり提案。

- 今後、交換留学生だけでなく一般留学生の受入れも増加することが予想され、その際には受入体制の充実が必要となる。また、大連理工大学等との交流の活性化に向けて、ひびきのキャンパスにおける語学教育についても充実が必要と考えられる。
- 留学生を対象とした入学前の研究生制度について、北方キャンパスでも検討してほしい。
- 今回の中期計画総括は、目標値の再設定など施策の方向性を定めるものである。個々の具体的取組みは別途検討し、教育研究審議会での提案・審議を経てそれぞれ実施する。

# 議事録

【議長】各学部等から意見をいただき、再度教育研究審議会で審議・承認いただくこととしてよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

## 第2号 学則の変更について

\* 学則の変更について、資料2-1及び資料2-2のとおり提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

## 第3号 平成20年度学年暦について

\* 平成20年度学年暦について、資料2-1及び資料2-2のとおり提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

## 第4号 地域創生学群入試制度について

\* 地域創生学群入試制度について、資料4のとおり提案。

●学力検査に「一般常識を問う総合問題」が含まれているが、一般常識とは具体的に何を指すのか受験生が戸惑うのではないか。

○検討し、適切な表現に改める。

【議長】地域創生学群の入試制度については、地域創生学群設置準備委員会で今後さらに検討したうえ、改めて教育研究審議会に提案するものとしてよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

## 第5号 教員の採用について

\* 資料5のとおり、地域創生学群地域創生学類（市民活動概論等担当）について、選考委員会から、候補者中に適任者が認められなかったため公募条件を見直し、再度募集することについて提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（提案の承認の後、選考委員会を設置）

# 議事録

## 報告

- ①平成20年度推薦入試志願状況について、資料6のとおり報告があった。
- ②平成20年度科学研究費補助金の申請状況について、資料7のとおり報告があった。
- ③教員の海外出張について、資料8のとおり報告があった。
- ④次回の審議会を12月18日(火)に開催する予定である旨、報告があった。